



ニュースレター

第43回理事会が11月11日に開催される

<報告事項>

- (1) 10月までの電話相談支援事業のホットライン、ヘルプラインの実施状況報告があった。
ヘルプラインカウンセラー養成講座は6名の申し込みがあった。
- (2) 対面型相談支援事業のグループミーティングの11月の報告があった。
- (3) 第3回相談担当者会議が10月21日に開催された。個別相談事業案に関する討議、広報の仕方についての討議があり、広報の方法については次回までに具体化する予定。
- (4) 高松市男女共同参画市民フェスティバルの実行委員会が11月10日に開催された。
11月21日から27日まで市役所1階ロビーでパネル展に参加する。25日にワークショップとして第10回公開セミナーを開催する。

<審議事項>

1. 2012年度香川県地域自殺対策緊急強化基金事業の上半期の実施状況について
対面型相談支援事業、電話相談支援事業、人材養成事業について、各担当理事から上半期の実施状況報告があった。
2. ヘルプラインカウンセラー継続研修について
2012年度の「グリーフワークかがわ 相談担当研修案」が示され、日程等は今後決定していくことで了承された。
3. 2013年度の自殺対策に関する基金事業の見通しについて
杉山理事長が県障害福祉課自殺対策担当に照会した結果、2013年度について基金事業が継続されるかどうか未定とのことだが、対面型相談支援事業としてグループミーティング、電話相談支援事業としてヘルプラインかがわ電話カウンセリングと自殺予防ホットラインかがわ、人材養成事業としてヘルプラインカウンセラー養成講座を今年度と同様に、また対面型相談支援事業の個別面談を新規事業案として、県障害福祉課へ見込み額を提出したとの報告があり了承された。
4. 2012年度ヘルプラインカウンセラー養成講座について
講師、担当者合同会議（第1回）が10月21日に開催され、11月22日開講の準備が進められていることについて報告があり了承された。
5. 個別面談による相談事業について
個別相談事業準備会を11月7日に開催し、地域のニーズに合った個別相談事業を展開するために具体的なやり方等を相談担当者会議で自由に討論することが提案され了承された。
6. 冊子のISBN取得について
審議未了
7. 広報活動について
「グリーフワーク事業広報のための関係機関訪問時の留意点と準備物」（案）が示され、原案通り了承された。
8. ヘルプライン電話カウンセリング担当者の日程調整について
現在の方法について再検討し、現行のとおりで継続することで了承された。

9. ヘルプライン電話カウンセリングプロシユールの扱について

現在の方法について再検討し、現行のとおりでいくこと了承された。

◆報告◆ 「地域支援ネット そよ風」(徳島市)に講師派遣

11月17日(土)徳島市の「地域支援ネット そよ風」からの依頼により、徳島市ふれあい健康館で開催された杉山理事長が講師を務める講演会に同行しました。

講演会は、徳島市男女共同参画フェスティバルあいのミニイベントのひとつとして「こころのケアPART2」の名のもとに開催され17名の参加がありました。講演概要は次のとおりです。

<テーマ>

グリーフワーク ～喪失と悲嘆により添うために～

最初に、「グリーフワークとは何?」に始まり、グリーフワークかがわの歴史や活動についての紹介をおこなった。ロゴマークのカラーをブルーと決めた理由を語る中で、ブルーは涙を表し、グリーフワークの過程において涙を流すことは、だれにも備わっている自分を回復させるちからであるとの解説があった。そして青い空という自然のちからに、人は癒されるということも、スカイブルーをベースカラーとした理由のひとつであること、GRIEFの文字の構造も自立と支援を表している解説があった。

次に、4つのグループに分かれ生活の中の喪失体験やその時の感情についての話し合いをおこなった。喪失体験の当事者、体験者に接する者等、参加者はさまざまな立場にあり、それぞれの思いを発表しあった。

<ふりかえり>

- グリーフワークには、人それぞれのペースがあり、そのペースを邪魔しないことが最大のグリーフケアでもある。なぜなら、ひとりひとりに負の感情を乗り越える力は備わっているのだから…。
- 喪失体験者に対し、周囲が必ずしも言葉をかけなければならないというわけでもなく、逆にあまり先々声をかけすぎることがかえって虚しいこともある。

「喪失」は、単に失うことだけではない。大切なことを得る経験ともなり得る、

「喪失」のあとの感情はさまざま、また、その人ごとのペースがある。

最後は、大きな輪になり、互いに、「これからもいくつもの喪失を経験するであろう未来の自分に向けての言葉かけ」をリレーしあって講演を終了した。

2012.11.27 記録：植田 夕香

◆報告◆ 2012年度ヘルプラインカウンセラー養成講座が11月22日よりはじまりました。

はじめに

- ・はじめに、杉山理事長より挨拶があり、ヘルプラインカウンセラー養成講座開講に際しての意義等について説明がありました。「喪失は死別体験だけではなく、私たちの暮らしの中にたくさんあ

ります。心の危機に直面した人に対して、私たちは何ができるのでしょうか。これから皆様とともに学んでいきたいと思えます」。8回シリーズで演習を中心にすすめます。

- ・ この事業は香川県地域自殺対策緊急強化基金事業補助金の交付を受けています。昨年、香川県での自殺者数は239人で、前年比で24人の増加となっています。
- ・ 次に、講師、スタッフの紹介があり、続いて参加者一人ひとりの自己紹介がありました。受講者は6名です。

「第1回テーマ：自殺に関する誤解と真実」

- ・ 杉山講師より、資料の配布があり、まず自殺についての自分自身の考えを書き、グループで話し合いました。この作業で、客観的に自分をみることができました。
- ・ その後、仮想事例をもとに、グループで事例検討を行ない、さらに各グループからの発表をもとに自由な意見交換がありました。自殺について、言葉で表現し、文章にすることにより、自殺についての意識の変化、気づきがあり、自殺にしっかりと向き合えるようになったようです。終わりに、杉山講師より総括がありました。

「講師・担当者による振り返り」

- ・ 講座終了後、講師と担当者による振り返り（20：30～21：00）を行い、演習の進め方について話し合いました。

以上が養成講座第1回の内容となります。

受講者の皆さまは、しっかりと受講の目的意識をもって、真剣に取り組まれました。

そして和やかな、やんわりとした気持ちの良い空間のなかでの2時間のようなようでした。

ありがとうございました。

- ・ 毎回、講座終了後には振り返りを行い、次回に繋げていきます。（記録：泉保公伯）

【お知らせ】

2012年度相談担当研修が始まります。

ヘルプラインカウンセラー登録者、グリーンカウンセラー登録者を対象にした継続研修を開催する。2012年度は12月から3月まで4回開催を予定している。

12月の予定

9日（日）10：00～ グループミーティング

9日（日）13：30～ 第44回 理事会

16日（日）10：00～ 第5回相談担当者会

16日（日）13：30～ HLC 養成講座講師・担当者合同会議（第2回）

19日（水）18：30～ 相談担当研修会（第1回）

6・13・20日（木）18：30～ ヘルプラインカウンセラー養成講座